

第6章 母子及び父子福祉関係

1 要援護世帯除雪費助成事業

母子世帯または父子世帯の屋根、玄関前、その他の日常生活上欠くことのできない場所の必要最小限の除雪作業に要する費用の一部を助成しています。

年度	助成世帯数 (世帯)	助成額 (千円)	助成内容	
26	18	590	(1) 市が指定する多雪区域 (2) (1)以外の区域	65,600 円 41,000 円
27	7	125	(1) 市が指定する多雪区域 (2) (1)以外の区域	65,600 円 41,000 円
28	6	120	(1) 市が指定する多雪区域 (2) (1)以外の区域	65,600 円 41,000 円
29	34	522	(1) 市が指定する多雪区域 (2) (1)以外の区域	65,600 円 41,000 円
30	26	296	(1) 市が指定する多雪区域 (2) (1)以外の区域	65,600 円 41,000 円

* 平成 29 年度に親族要件の廃止と合わせ、助成対象となる除雪の範囲の見直しを実施。

* 災害救助法適用分及び高齢者世帯、障害者世帯を除く。

2 児童扶養手当給付事業(昭和 37 年 1 月から)

ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進に寄与するため、当該児童について手当を給付し、児童の福祉の増進を図ります。(所得制限限度額以上の場合は支給停止)

支給月:4 月、8 月、12 月

* 令和元年 11 月以降、奇数月(1 月、3 月、5 月、7 月、9 月、11 月)の支払いへ変更。

給付状況

年度	受給資格者数 (人)	給付額 (千円)	手当月額(円)		加算額(円)	
			全部支給	一部支給	2 人目	3 人目以降
26	1,737	632,371	41,020	9,680~41,010	5,000	3,000
27	1,675	627,876	42,000	9,910~41,990		
28	1,653	628,168	42,330	9,990~42,320	5,000~10,000	3,000~6,000
29	1,630	630,892	42,290	9,980~42,280	5,000~9,990	3,000~5,990
30	1,541	618,049	42,500	10,030~42,490	5,020~10,040	3,010~6,020

* 児童とは、18 歳到達年度の末日までの人又は 20 歳未満で一定の障害のある人。 受給資格者数は、各年度 3 月 31 日現在

3 ひとり親家庭等医療費助成事業 **県親**（平成3年4月から）

ひとり親家庭の父、母又は養育者及び児童の医療費について、自己負担金から一部負担金（入院 1,200円／1日、通院 530円／1回）を控除した額を助成します。

助成状況

年度	受給世帯数(世帯)	受給者数(人)	助成件数(件)	助成額(千円)
26	1,540	3,834	39,726	87,205
27	1,453	3,609	39,584	91,001
28	1,509	3,728	39,676	88,428
29	1,504	3,691	39,562	88,379
30	1,357	3,351	40,513	87,984

受給世帯数及び受給者数は、各年度3月31日

* 児童とは、18歳到達年度の末日までの人又は20歳未満で一定の障害のある人

4 自立支援教育訓練給付金給付事業（平成17年4月から）

児童扶養手当又はひとり親家庭等医療費助成の受給要件を満たしている人を対象として、ひとり親家庭の父又は母が就職に結びつく講座や教室を受講する場合、受講費用の一部を給付します。

給付状況

年度	給付件数(件)	給付額(円)
26	3	84,000
27	2	54,000
28	5	315,879
29	10	774,150
30	3	117,113

5 高等職業訓練促進給付金給付事業(平成21年4月から)

児童扶養手当又はひとり親家庭等医療費助成の受給要件を満たしている人を対象として、ひとり親家庭の父又は母が看護師、介護福祉士等の安定した収入が期待できる資格を取得するため、一定期間以上、養成機関で修業する場合、月額100,000円(市民税非課税世帯)、又は月額70,500円(同課税世帯)を給付します。

給付状況

年度	給付件数(件)	給付額(円)
26	4	2,938,000
27	6	5,156,000
28	6	5,623,000
29	6	5,101,000
30	5	4,398,000